

# 設 立 趣 意 書

私たちは、健康であることが一番大切だと考えて、日常の健康管理を定期的に行うこと、健康講座、薬膳料理講習、体操講座など健康推進保健活動を展開していくために、会を発足しました。そして、活動していくうちに、手助けを必要としている人がたくさんいることを知りました。

いつまでも、住み慣れた地域で健康に暮らしたいというのは誰でもが願うことです。年をとっても、障害があっても、子育てに手を貸してもらいたい人も地域の中で、支えあう人がいる、声をかけ合う人がいる、助け合う人がいれば心豊かに安心して暮らしていけます。私たちは、お互いに助け合い、力を出し合いながら生活できるそんな当たり前の社会である様、地域の中で健康推進保健活動を進めながら福祉活動を続けてきました。

平成9年に始めた配食サービスも、活動の中から、健康の基礎である食事の大切さを痛感した事によります。

平成12年4月に介護保険制度が導入され、今まで通り、樹に来てほしいという会員の声に応じて介護保険法に基づくサービスを開始しました。介護保険制度が、豊かに、安心して暮らしていけるための制度であるように市民として発言していく責任もあると思っています。私たちは、一人の人間が、自分らしく、自立して生きていくために、健康な時から、手助けが必要な時まで、福祉を広く捉えて必要なサービスを考え実行してきました。会の名前を 樹・アープレ と名付けたのも太い幹に多様な活動を生み出したいと考えたからです。これは、樹・アープレの精神であり、その姿勢はこれからも変わりません。

創設してから6年余り、法人格を取得して、法人として社会的にも認知され、責任と継続性をもって、安心して暮らせる地域社会を作ることに寄与するために、ここに特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ樹・アープレを設立します。

2001年6月2日

特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ樹  
理 事 長 關 富 美 子